



あそ 遊ぶときは気を付けて

だれでも、たまにはケガをするよね。ケガをするのはいやだけど、わたしは君の^{きみ} ^{からだ}体を、ぶつかったり すりむいたり 切りキズが できたりしても、ちゃんと ^{なお} 治るように ^{つく} 造ったよ。ケガをしたら、どうして そうなってしまったのかを ^{かんが} 考えてみる ことが ^{たいせつ} 大切だよ。気を付けていたかな？ お父さんや お母さんや ^{せんせい} 先生の ^い 言いつけを ちゃんと ^き 聞いて、^{まも} 守っていたかな？ ^{ふちゅうい} 不注意でケガをする こともあるからね。だから、そういう ^{しっばい} 失敗から ^{まな} 学ぶ ことは、^{たいせつ} 大切なんだ。不注意で ^{ふちゅうい} またケガをしたり しないようにね。



ちょっとした^う打ちキズや
ひ
引っかきキズは、あわてず、
ちゅうい^{ぶか}
注意深く なるようにと
おも^だ
思い出させてくれる。外で
あそ^{まわ}
遊ぶときは、周りをよく
み^{いの}
見て、祈ろう。何かを
と^{とき}
飛びこえる時は、その前に
かんが^え
ちょっと考えてみよう。
じ^{ぶん}
自分のしていることに
ちゅうい^{じこ}
注意をはらって、事故を
ふせ^き
防ごう。気をつければ
き
気をつけるほど、もっと
じこ^{ふせ}
事故を防げるよ。

あわてず、ちゅうい^{ぶか}
注意深く なって、
きみ^{せわ}
君の世話をしてくれている
ひと^い
人たちの言いつけを守るのを
わすれないようにね。わたしも、
きみ^{みまも}
すぐそばで君を見守って
いるよ！

